

「環境フィールドワークの海外実習科目の新設準備」のためのプロジェクト報告書

研究代表者 櫻井 次郎
 共同研究者 谷垣 岳人
 山田 誠
 丹野 研一

当該プロジェクトでは、環境サイエンスコースにおいて2025年度に台湾における海外フィールドワークを実施するにあたり、当該事業を滞りなく実施するため、関連資料の収集と学生を引率する予定の大学、環境教育関連施設等を訪問して打ち合わせ等を実施した。

台湾への訪問は2024年9月3日から9月8日までであり、申請書に記した日程から変更なく行われた。また、現地訪問に関する詳細は、2024年10月31日に実施した環境サイエンスコースの第4回ファカルティ・ディベロップメント（FD）において報告した。

なお、上記FDにおける検討結果をもとに決定された台湾フィールドワークの内容は、2025年度シラバスに反映されている。なお、現時点でのスケジュールは下記の通りとなっている。

- 9月2日（火） 関空発一高雄着 バスで台南市・国立成功大学へ移動
国立成功大学のキャンパス見学
- 9月3日（水） 午前：国立成功大学の学生との交流学習会
午後：成功大学学生と共にソーラー・シェアリング現地視察
- 9月4日（木） 午前：台湾文化資産教育パーク訪問
午後：烏山頭ダム湖施設見学、周辺農家へのヒアリング
- 9月5日（金） 午前：台北へ移動
午後：国立台湾博物館見学・二二八記念公園散歩
- 9月6日（土） 午前：環境教育施設（台湾水道博物館）見学
午後：文化遺産見学（九份）
- 9月7日（日） 台北発一関空着 帰国

海外フィールドワークの詳細について、上記FDをもとに学生への紹介用に作成した資料を以下に貼り付けるので参照されたい。

海外フィールド・スタディ 台湾篇
 2025年度 東海学院 龍谷 豊田校

概要
 ・訪問期間：2024年9月2日（火）～9月7日（日）
 ・自由日の予定
 ・訪問地：台南（1泊）
 台北（2泊）

スケジュール（予定）
 ・9月2日（火） 関空発一高雄着 バスで台南市のホテルへ移動
 国立成功大学のキャンパス見学
 ・9月3日（水） 午前：国立成功大学の学生との交流学習会
 午後：成功大学学生と共にソーラー・シェアリング現地視察
 ・9月4日（木） 午前：台湾文化資産教育パーク訪問
 午後：烏山頭ダム湖施設見学、周辺農家へのヒアリング
 ・9月5日（金） 午前：台北へ移動
 午後：国立台湾博物館見学・二二八記念公園散歩
 ・9月6日（土） 午前：環境教育施設（台湾水道博物館）見学
 午後：文化遺産見学（九份）
 ・9月7日（日） 台北発一関空着 帰国

国立成功大学との交流
 ・台湾の物2
 ・観光物にもなると「成功大学」
 ・キャンパスには自然豊かな
 ・台湾の大学生と交流
 ・成功大学の学生と交流
 ・日本から来た1人1人が
 ・グループでの発見

台南市ソーラー・シェアリング
 ・高度先進型の太陽光発電
 ・自然電力、自然産業の活用
 ・農業従事者からの収入増加
 ・環境型アセスの導入
 ・安心な環境発電

台湾文化資産教育パークの見学

台湾華語 英語 日本語

成功大学 キャンパス

烏山頭ダム湖施設見学

右はコンビニの写真

名物のかき氷

重要事項のまとめ
 ・科目登録は4月、「学部共通特別講義C」
 ・研修は9月2日～7日（5泊6日）
 ・初日ガイダンスには必ず出席！（事前講義の日程調整）
 ・4単位

台湾のしゃぶしゃぶ 食べ放題

龍谷大学のホテルの朝食

東南アジア料理も美味しい

スケジュール（予定）

- 9月2日（火） 関空発ー高雄着 バスで台南のホテルへ移動
国立成功大学のキャンパス見学
- 9月3日（水） 午前：国立成功大学での学生交流
午後：ソーラー・シェアリング現地見学
- 9月4日（木） 午前：台湾文化資産教育パークの見学
午後：烏山頭ダム湖施設見学、周辺農家訪問
- 9月5日（金） 午前：台北へ移動
午後：国立台湾博物館見学・二二八記念公園散策
- 9月6日（土） 午前：台湾水道博物館
午後：未定（九份）
- 9月7日（日） 台北発ー関空着 帰国

海外フィールド・スタディ 台湾篇

2025年度・実施予定

担当 櫻井次郎

国立成功大学との交流

- 台湾のNo.2
- 鄭成功にちなんで「成功大学」
- キャンパスは自然豊か
- 台湾の大学生と共に環境について学ぶ講義
- 日本側からは3～4人グループで1つの発表



概要

- 訪問期間：2025年9月2日（火）
～9月7日（日）

5泊6日の予定

- 訪問地：台南（3泊）
台北（2泊）



台湾文化資産教育パークの見学



成功大学 キャンパス



台湾華語 英語 日本語

水庫的哥哥：六甲埤塘
The Predecessor of Aqueduct: Lujia Pond
ダム の “先輩”：六甲埤塘

你會不會好奇八田與一蓋烏山頭水庫之前，農夫們到底怎麼灌溉呢？

其實更早之前，農人就會在地勢高的地方挖洞做成埤塘儲存雨水灌溉，但僅靠集雨水仍然不夠，所以農業灌溉必須動用水庫。埤塘環境猶如天然溼地，吸引動物聚集繁殖，提升物種多樣性，也是生態保育重要地帶（位於台南的六甲埤塘除了灌溉用途，還兼用作為高麗產業的冷卻水，以及藍染工坊的先鋒場所，是六甲居民生活中最親密的夥伴。

How did the farmers water their fields before Hatta Yoichi built the Wushantou Reservoir?

In the early days, farmers dug holes at higher elevations to make rainwater harvesting ponds for irrigation, even though agricultural irrigation primarily relies on reservoirs, as collecting rainwater alone is insufficient. Nonetheless, the pond environment, similar to a natural wetland attracting different species of wildlife, has become an important area for ecological conservation. Apart from irrigation, the Lujia Pond in Tainan is closely linked to the life of Lujia residents. It provides cooling water for the kiln industry as well as serving as a washing area for indigo dye workshops.

八田與一技師が総指揮をとった烏山頭ダムが完成するまで、台湾の農夫たちは埤塘と呼ばれる溜め池で耕地に配水していた。埤塘環境は天然溼地に似て、動物を集めて多様な生物を呼び寄せ、生態系保全のための重要な場所となっている。また、高麗産物の冷卻水や、藍染の工程で水を洗うのに使われていた。埤塘は、六甲の生活に欠かせない存在だ。

台南市ソーラー・シェアリング

- 漁電共生型の太陽光発電
- 台湾電力、日本企業の参画
- 漁業関係者からの反対運動
- 簡易型アセスの導入
- 渡り鳥の飛来地





右はコンビニの写真

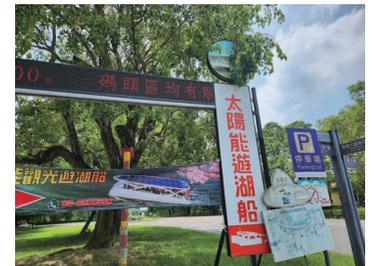


隆田駅前風景



名物のかき氷

烏山頭ダム湖施設見学





台湾のしゃぶしゃぶ
食べ放題



宿泊予定のホテルの朝食

重要事項のまとめ

- 科目登録は**4月**、「学部共通特別講義C」
- 研修は9月2日～7日（5泊6日）
- 初回ガイダンスには必ず出席！（事前講義の日程調整）
- 4単位



東南アジア料理も美味しい